

# 事業所情報（保育所）

（令和3年 7月1日現在）

施設名

富山市立音川保育所

## 1 基本情報

所在地： 〒939-2632 富山市婦中町外輪野 832	
TEL：076-469-2001	ホームページ：
FAX：076-469-2001	E-Mail：otogawahku@city.toyama.lg.jp
交通手段： 富山地方鉄道バス（山田線）音川停留所下車 徒歩 1分 JR 高山本線 速星駅下車 車 15分	
開設年月：昭和47年3月31日	開所時間：7：30 ～ 18：00
敷地面積： 3846.85 m <sup>2</sup>	建物面積： 598 m <sup>2</sup>
経営主体： 富山市	設置主体： 富山市
施設長名(所長、園長)： 長谷川 聡美	

## 2 職員体制

施設長： 1名	保育士：(育休1名含む) 7名	保健師・看護師： 0名
栄養士： 0名	調理員： 2名	医師： 2名(嘱託医)
事務員： 名	その他： 名(臨時用務員1名) (保育助手 名)	計： 11名

## 3 保育所の方針

- ・一人一人の子どもが心身ともに安心して生活できるようにする。
- ・自然に恵まれた環境の中で、四季を感じ、丈夫な体と豊かな情緒を育む。
- ・仕事と育児の両立支援を積極的に行い、保護者や地域に寄り添う保育所作りを目指す。

#### 4 サービス内容

対象地域	富山市						
対象年齢	生後 8 週～就学前						
入所定員	45 名						
入所児童	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
	2	3	4	4	9	7	29
居室数・内容	事務室 1・保育室 3・乳児室及びほふく室 1・ふれあいサロン室 1 給食室 1・遊戯室 1						

サービス名	有 無	具体的な内容（利用時間、詳細料金など）
乳児保育	有	・ 0 歳児保育は生後 8 週より
障害児保育	有	・ 障害のない乳幼児との統合保育を行っている。 ・ 富山市の事業として障害児通所指導事業がある。保育所に未入所の障害を持つ幼児を対象に保護者同伴で週に 1～2 回午前 2 時間無料で保育体験や個別相談を行っている。
延長保育	有	・ 保育短時間の場合 （朝） 7：30～8：30 の時間外保育料金 月額 3,500 円 日額 200 円 （夕） 16：30～18：00 の時間外保育料金 月額 5,000 円 日額 300 円
夜間保育	無	
休日保育	無	
病児保育	無	
一時預かり	無	
地域子育て支援拠点事業	有	・ 地域子育て支援事業として親子サークルを年 7 回実施している。

健康管理	<p>保健活動… 身体計測（毎月） 年間午睡（3 歳未満児） 4 月～9 月までの午睡（3 歳児） 夏季午睡：7 月～8 月（4 歳児・5 歳児）</p> <p>健診・検査…内科健診、歯科健診、視力検査 （3 歳以上児 5 月・10 月年 2 回） しらみ検査（毎月） 尿検査（6 月 年 1 回）</p>
------	---

食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満児は完全給食 3歳以上児は主食のみ持参（週1回主食有）</li> <li>・離乳食、アレルギー食、体調に合わせた配慮食の対応をしている。</li> </ul>
休日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）</li> </ul>
地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音川小学校との交流（さつまいも苗植え・芋ほり 交流会年2回）</li> <li>・城山中学校14歳の挑戦受け入れ キャリア教育事業実施</li> <li>・音川地区光寿会との交流（年長児参加）</li> <li>・音川地区文化祭参加</li> <li>・ふれあい交流会（独居老人）招待</li> <li>・地区おはなしの会の方から絵本の読み聞かせ（月1回）</li> <li>・シニア保育サポーター活動（保育所の環境整備等）</li> </ul>
保護者会活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源回収（年2回）</li> <li>・親子の集い（保護者会主催）</li> </ul>

#### 5 サービス利用のために

利用申し込み方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山市役所こども保育課及び各行政センター窓口で申し込みをする。 （教育保育給付認定申請書・保育ができない証明書・個人番号確認資料・母子健康手帳等を持参する）</li> </ul>
申請窓口開設時間	平日 8時30分～17時15分
申請時注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請認定については、保育を必要とする証明書が必要である。</li> <li>① 就労等 ② 妊娠・出産 ③ 疾病・障害 ④ 介護等 ⑤ 災害復旧</li> <li>⑥ 求職活動 ⑦ 就学 ⑧ 虐待・DV ⑨ その他</li> <li>・申請は入所希望日の2カ月前の月末まで行う。</li> </ul>
入所相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山市こども保育課、各行政センター、保育所等で随時行う。</li> </ul>
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育料…市町村民税額で算出する（3歳未満） （富山市が保有する税務情報を基に算出する）</li> <li>② その他…時間外保育料金、保育用品費（入所時）保護者会費 園外保育に係る費用など （重要事項説明書に記載）</li> </ul>
食事代金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育料に含まれる（3歳未満児）</li> <li>・給食副食費 4,500円（3歳以上児）所得等の条件により免除有。</li> </ul>
苦情対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育所長・副所長が苦情解決責任者となり、苦情解決にあたる。</li> <li>② 保育所において解決に至らなかった場合、富山市保育所苦情解決処理要綱第5条の規定により委託された第三者委員により、苦情解決を図る。</li> </ul>

その他情報提供資料	保育所のしおり 保育所入所のご案内 富山市子育て支援ガイドブック 富山市ホームページ 保育所運営規定 重要事項説明書等
-----------	--

## 6 施設の公開、実習生・ボランティアの受け入れ

施設の公開・見学	実習生の受け入れ	ボランティアの受け入れ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随時受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士・幼稚園教諭 養成校の学生</li> <li>・ 城山中学校 2 年生 (社会に学ぶ14歳の挑戦)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お話の会 (おおかぶの会)</li> <li>・ シニア保育サポーター (保育所環境整備等)</li> <li>・ 地区ボランティア (門松設置)</li> </ul>

## 7 その他特記事項

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音川保育所は、自然豊かな田園・山間地域に立地しており、地域の方々とのつながりが深く、様々な交流をしている。自然豊かで広い園庭では、カエルやダンゴムシなどの虫を捕まえたり、いろいろな草花を摘んでままごと遊びをしたりと自然の中で感性を育むことができる環境である。</li> <li>・ 年 5 回「地域便り」を発刊し、地域の方々に保育所の子ども達の様子を知らせたり、保育所周辺の商店に出かけ触れ合う機会をもったりと、地区との関わりを深めている。</li> <li>・ 保育所園庭では、5 歳児が祖父母と植えた野菜作りを行っており、野菜の成長を観察したり、収穫した野菜を給食で味わったりと野菜作りを通して自然の恵みや育てる喜び、調理する人への感謝の気持ちが育つよう取り組んでいる。</li> <li>・ 地区ボランティア『おおかぶの会』の方に月 1 回絵本の読み聞かせに来ていただいたり、月 1 回自動車文庫で絵本の貸し出しをしたりと、豊かな感性を育めるようにしている。</li> <li>・ 隣接する音川小学校とは、5 年生と一緒にさつまいもの栽培をしており、年 2 回の合同災害時避難訓練や交流会を実施するなど交流を多く取り入れている。また、教職員と保育士の情報交換を定期的に行うことで、スムーズな就学ができるよう連携を図っている。</li> <li>・ 日頃の子ども達の様子を玄関にて動画放映やホワイトボードにて知らせることで、登降所時に保護者に情報提供している。</li> <li>・ 音川地区のボランティアの方やシニア保育サポーターの方と触れ合う機会を大切にしている。栗拾い体験やぶどう狩り体験、年末には手造り門松の設置、パステル画教室や地区在住の絵画講師と親子で行う修了記念製作など地区の中で育つことを実感できる機会が多く、子ども達が感謝の思いをもって関わられるよう心がけている。</li> <li>・ 七夕の時期には、音川地区の独居の方に七夕製作をプレゼントしたり、七夕の集いに参加していただいたりして交流を図っている。</li> <li>・ 地区にある自然体験施設『ねいの里』に年 3 回出掛け、指導員から生き物や植物の丁寧な説明を受けたり、触ったりする機会を多く持つことで、興味関心が持てるようにしている。</li> </ul>
---

